

さらにきさらぎ

「寒いね、流石に衣更着、更に着る。ほら、すずめもまんまる太って寒冷地仕様な感じ」

「うん、寒冷地仕様だね。でも太っているわけじゃないだろ、あれは毛を立たせて外気との間に断熱層をつくっているだけだろう」

「がーん、そうだったのか、てっきり冬ごもりに備えて栄養万点でおいしそうになっているのかと思っていた…」

「…食べる対象として見ていたのか…」

「う、それは猫とかから見た視点、あたしは別にすずめを食べたいとは思っていない、たまに思考回路が猫のになるだけなのさ」

「なのさって…、ていうことはやっぱりそういうすずめに向かって飛び掛ったりするわけなのか？」

「ううん、見ておいしそうだなあって思うだけ、ちなみに寒冷地仕様になった猫はまんまるくなるけれど、まだそうじゃないとねこわっさん状になっていたらだらだらしている」

「ねこわっさん？」

「三日月状ってことじゃない」

「そりゃクロワッサン…、で猫もおいしそうに見えるってこと？」

「そう、その時は猫好きな人の思考回路になるわけなのよ」

「猫好きの意味が違う」

「そうかなあ、寒いからあんまそーゆーことは気にしないってみんな。それよりも気になるのが寒冷地仕様ってステッカー貼ってるくるま、あれはそーゆーロゴを貼ってうちは寒いですよーって言うだけのこと？ 例えば天井に雪を30cm積もらせて走っているくるまとおなじように？」

「いや、それはちゃんとした理由で自動車メーカー各社独自の仕様でつけている。飾りじゃないよ」

「例えば、まるい、とか、例えば、毛を逆立てている、とか？」

「バッテリーを大容量にするってのはほぼ全社共通仕様、他は各社いろいろ、ヘビーデューティーヒーターとか、ワイパーサーキットブレーカーとか、ウェザーストリップをシリコンコーティングするとか、ボディ下部の塗装変更とか、あ、ワイパーは逆にパワーアップさせてあげるとか、ドアミラーにヒーター…」

「でも結局それって暖かくしてやるとか、パワーアップしてやるとかで、面白くない。もう形状からして違うようになんないのかな？ 例えばワイパーを毛深くしてまんまるくして、ガラスにひっついて自分でわざわざ動いて雪とか氷とか水滴とか食べちゃうけせらんばさん状のやつとかあ」

「さらっと妙なこと言うなあ、それは絶対鬱陶しいことになる」

「そうかなあ？ いいのに」

「だいたい、それはなに？ 寒冷地仕様のこととはだいぶ違う」

「いやーん、寒冷地仕様はステッカーだけでも、あれ貼つるとバッテリーがあがらないおまじないみたいだし」

「あーはいはい」

「でもね、このところ寒い寒いって言うけれども、ほんとに寒いのか？ 最近ではヒートアイランド現象で日本国内暖かくなってきているんでしょ？」

「そのヒートアイランドは島が暖かくなるってわけじゃなくて、島のよりに都市部が周りより暖かくなるってこと。でも確かこの2001年で過去30年から見た“例年”が改まるわけだけれども、平均気温は上がっている。地球温暖化なのかどうなのかはわからない。たまたまこの過去30年に気温の高い時期が続いただけかも知れない」

「えーそんなんじゃ、二酸化炭素を出さないように努力している先進国の努力はいつたいなに？」

「過去の対する贖罪以外のなにものでもない。それに一応ポーズはとってい

るものの、結局二酸化炭素排出枠を発展途上国から買っているから、なにがなんだかわかんない」

「むー、でも暖かくなる原因はそれじゃないんでしょ？」

「断言できない、もしかしたらそれも一因かも知れないし、アマゾンの焼畑農業のほうが問題かもしれない。例えば、過去にある研究者が肺がんになった患者の調査をして、結果タバコを吸わない人間のほうが肺がんになりやすいって結論を論文にまとめて発表した」

「うぬぬ」

「でも、誰からも相手にされなかった。それは調査対象が肺がん患者のみに絞られていたから。統計の採りかた、サンプルの設定に誤りあり」

「あ、そっか、採るなら無作為に選んだタバコの人100と、タバコじゃない人100、とかでやるもんね」

「つまり地球温暖化ってそんなんこ 100年くらいしかまとめた統計がないんだから、輕輕に言うことできない」

「だから最近たまたま輪島上空に冷下40度の寒気団がやってこないだけなのよね？」

「いや、輪島上空ってのは輪島に観測所があったからそういう発表されてきただけで、格別に輪島が寒気団に好まれているわけじゃない。それに天気予報で輪島上空輪島上空ってうるさいから日本中に輪島は寒いとこやって思われてしまった。だから輪島の人がある寒くない、日本気象協会なんとかしてくれてことになり、今では言わない」

「うおっ、言わないの？ もう？」

「そう、やっぱり寒いのはみんな嫌なんだよ、常冬って普通言わないけれども常夏ってのはよく聞くし」

「そーいや2月って28日しかないのはグレゴリウスが寒いから短こうせいって言ったからからだよ」

「ん、そうじゃない、もともとグレゴリオ暦の前のユリウス暦から閏年を改良しているから2月は28日、それを引き継いでいる。で、ユリウス暦の前は3月から1年が、ま、3月の時期に1月が始まる暦で最後の月が2月に当たっていたから、暦の誤差とかが旧年末である2月に押しやられていたわけで、ユリウスが暦作った時最初から31日と30日を交互に持っていこうとしたら、困ったことにユリウスの誕生月の8月が30日になる。こりゃまずいって31日にして9月を30日、10月を31日ってした結果、最後の2月が割を喰ったというか喰われたというか…」

「ややこしいな、なんでこんなに面倒なん？」

「農業に必要なだから毎年季節と日にちが一致することが望ましい。故に太陰暦は月齢と一致しているから農業や漁業において便利だったわけだが」

「そっか、それで今の新暦ってほしい季節とは合うけど、なんか微妙なところ、おかしい感じがするんだ。春分秋分が年によって違うし、成人の日とか体育の日も毎年違うし」

「それって結構違う話だと」

「両方休み！」

「うん、ユリウス暦はキリストの生誕祭が当時の暦ではずれのを直すために作成されたと言うし、ハッピーマンデーは観光産業への慈雨ならんとして作成されたと言う。ま、人為的に都合がよくなるようにどんどん暦は変貌していくものだな。寒い暑いはあるけれど」

「そーだよ、寒い寒いって服着るからきさらぎが一番いいよね」

「ま、FebruaryはFEBRUA、清めの儀式ってラテン語からきていることを思うと、2月を寒い寒いばっかで過ごすのも考え物だけど」

おしまい

Maki Rouel fin 2001,1,22 depuis 2001,1,29